

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4081
20年8月18日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

勤務時間を守り、職場を守ろう

おはようございます。

お盆が過ぎれば涼しくなる、と言われたのは過去の話で連日の猛暑が続いています。40度を記録する地点もあるなど全国的に危険な暑さです。自分の体調管理は自分しか出来ません。無理をせずこの夏を乗り切りましょう。

今年度から日祝日の配達の見直しが行われ、基本的に書留、ゆうパック、ゆうパケットは当日中にすべて配達するようになりました。

前年度末の3月に試行的に各部署員配置の見直し調査を行い、その結果、1集、2集では増配置を行いました。3集は日勤と夜勤を入れ替えただけで、増配置は行わず4月からスタートしました。

8月中旬になり、約5カ月近くが経過しましたが各部の状況はどうなっているのでしょうか？



日祝日は、当日にならないと業務量がわからない部分があり、以前から3集では、物増の時などは朝から夜勤者に連絡して前超勤をお願いしていました。しかし今年度4月からは、前日から夜勤の担務者に2時間前超勤を発令するなど、明らかに残業ありきの要員配置になっています。

また、日勤者も定時で終わることはほとんどなく超勤がほとんどで、時には3時間近くの超勤で対応した日などもあります。これでは適正な要員配置とは言えません。只、配達できず滞留になるなどの問題は発生していません。局としては一見順調に行っているように判断しているのかもしれませんが、実は数字

に表れないサービス残業が横行しています。一番多いのは時間前着手です。目的は居住と場所の確認がほとんどです。出勤者は毎回100件近く(またはそれ以上)配達します。すべての配達区に精通している人ばかりではありません。知らない所は地図で場所を調べなければなりません。また精通した区でも、アパートなどは住人の入れ替わりも多く、やはり居住確認をしなければなりません。



これら出発準備作業はアパート、マンションや街区になつていく団地などはそんなに時間はかかりませんが、長崎特有の山手地区などは、町を跨いで配達するところもあり、この作業に1件で5分近くかかる場合もあります。

係なく、時間前着手が常態化しているのが現状です。サービス残業の時間は10分程度かもしれませんが、人数次第では局全体で数時間に該当するかもしれません。今回の要員配置の見直しにあたり、3集だけ増配置が行われませんでした。その何分かが増員にストップをかけている可能性もあります。

今回の日祝日の配達の見直しは、土曜休配を見据えた全国的な施策と言われています。土曜休配の問題は、法律改正などの時間が必要で、今の所具体的な話はまだ見えてきませんが、実現されれば大幅な要員配置の見直しが行われるのは間違いありません。その際に混合区の復活など増配置が行われるか？人員削減が行われるかは今後の我々の働き方次第かもしれません。

今からでも遅くはありません。勤務時間をしっかり守ることが自分の職場を守ることに繋がります。部下の勤務時間管理は管理者の仕事です。ユニオンに指摘されたい

ようにしっかりと仕事を行って下さい。



定例窓口報告

支部では毎月、長中局と交渉(定例窓口交渉)を行い、職場の声を代弁しています。

5月の窓口で、ゼンリン地図がボロボロなので購入を求めました。

6月の窓口で、長中の回答は「支社に上申中で、購入時期はゼンリンの更新時期である8月がベストだと考えている」との回答がきました。

7月の窓口では、3階休憩室のクーラーを「意図的につけない」との噂があったので確認しました。長中局からは「故障中で修理を依頼している」との回答を受けています。

今後とも随時定例窓口報告を掲載していきます。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員の正社員化を。

ゆとり、均等待遇、なげんご差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ!